

楽しいことは？

毎週発行なので、情報を集めるのは大変ですが、掲載したお店などから、「おかげで、お客さんがたくさん来てくれたよ」と言ってもらえることが、すごくうれしいです。動画の再生回数が伸びるのも励みになります。

どんな仕事ですか？

いろいろなお店や暮らしの情報など、地域情報満載のタウン紙を、毎週95,000世帯にお届けしています。ウェブやSNSでも、これらの情報を配信しています。最近では、広告掲載企業さまからの依頼でイベント企画等も行っています。

この仕事のやりがいとは？

多くの市民の皆さんに読んでいただき、情報を共有することで、街を変えていけるのではないかと、思っています。自分の力で、仲間たちと力を合わせて、街を良い方向に動かせる。なかなか、こういった仕事はないのではないのでしょうか。



ちいきじょうほうし へんしゅうしゃ
地域情報紙 編集者

まきの たけし
牧野 武志 さん
しものせき ししゅつしん
下関市出身

仕事図鑑

このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

「メインは地域情報紙の発行ですが、多様性の時代になり、紙面だけの発信では、伝えきれない部分を、動画を制作してウェブに掲載したり、イベントを開催したりして、発信力を強化。創刊して11年、創刊当時から、やりたいと思っていたラメンフェスを昨年10月に開催。心掛けていたことは、「高校生の頃の自分」として、「面白い」と思わせるものを作ることです。

作り手が楽しむ＝伝わる

「高校まで下関にいました。が、実は下関が嫌いでした」と牧野さん。実家の周りは田んぼと畑、山ばかり。「カエルがうるさいし、早く都会に出たかった」。でも大阪・東京で暮らしてみると、満員電車で揺られ、仕事に追われる日々。東日本大震災を機に下関に戻ってきて、改めてふるさとに自然豊かで、食べ物もおいしいし、歴史に裏付けられた奥深さがある。下関の魅力を一歩でも多くの人に届けたいとの思いは熱く、「この仕事は、天職だと思っています」。

下関の魅力を伝える仕事



市内の有名ラーメン店10店舗が集いにぎわいました



画面から、この楽しさが伝わるとうれしいな～



デザイナー3人、ライター1人の4人で作ってます